卒業論文

地域流動性がもたらす作用・反作用：新住民による連帯性低下と旧住民間の連帯性向上

平成 21 年度入学
文学部　人文学科
社会学・地域福祉社会学専門分野
平成 26 年 1 月提出

要約

まず、第 1 章では、本論文の問題設定を行い、調査の目的を明らかにした。一見マイナスの事柄が、実はプラスに働いていることを様々な分野において体験したり、目にする機会がある。私は、このような逆説的な事象を社会学の分野において調査したいと考えた。その調査の題材として、現在様々なところで希薄化が問題視されている「地域の連帯」を選択し、その連帯について逆説的事象を調査することとした。まず、「作用」に「地域流動性が高い地域において、地域の連帯が希薄化していること」をあて、その「反作用」に「一部の住民の間では、地域の連帯が強化しているのではないか」ということをあてた。そして、「地域流動性」の高い地域では、「地域の連帯の希薄化」とともに「地域流動性」のマイナスの「作用」と考えられる「地域問題」の解決の過程において、住民間の連帯が強化しているのではないかということを問題設定とした。

第 2 章では、「地域流動性」と「地域問題」の間に、どのような傾向があるか確認することと調査地域を決定するために、福岡県内の市区町村のデータをもとに「地域流動性」と「地域問題」の相関図を作成した。この相関図によると、福岡県内では少年非効率を除いて、「地域流動性」が高い地域ほど「地域問題」が発生しており、「地域流動性」が「地域問題」の発生に影響を与えていることが発見できた。そして、70 を超える福岡県内の市区町村の中でも福岡市中央区と博多区の値が常にグラフ右上に位置し、他地域に比べて非常に高い値を示していることが分かった。これは、中央区と博多区は「地域流動性」が高く、「地域問題」も多く発生していることを示しており、この結果から、これらの地域に着目することとなった。

第 3 章では、第 2 章で最も「地域流動性」と「地域問題」発生率が高いことが分かった 2 区の内、中央区の天神地区にてまちづくり活動を実施している「はかた夢松原の会」で行った事前調査の概要や調査結果について記載している。仮説を形成するにあたって、地域の人々の移り変わりが激しい地域では、実際にどのような問題が発生しており、それを解決する為に地域住民がどのような活動を行っているか、また、地域の連帯はどのようであるかを調査した。天神地区は若者（新住民）の流入によって、様々な「地域問題」が発生しており、地域の連帯が希薄になっていることも問題視されていた。地域住民は様々な「地域問題」の存在を指摘しており、中でも自転車の危険な乗り方や駐輪問題を特に問題視していた。

第 4 章では、先行研究と事前調査の結果をもとに仮説の形成を行った。ここでは 4 つの仮説を立てたが、主に『若者（若い世代）の流入が多いと、地域コミュニティに混乱（「地域問題」）が生じ、地域のつながりが希薄化する（「地域

流動性」の作用)。』と、『地域のつながりは平均的には希薄化しているが、一部では希薄化していない。すなわち、地域に対する流入が多ければ、平均値では住民の地域への愛着は弱くなるが、「地域問題」解決のために一部の住民（旧住民）の間では反作用的に地域への愛着が強くなり、住民間の連帯性も強くなる。』の 2 つの仮説を検証していくこととした。

第 5 章では、第 2 章で作成した相関図で、中央区と並んで「地域流動性」と「地域問題」発生率が高い地域である博多区を調査対象地区とし、西鉄雑餉隈駅に隣接し、周辺に複数の商店街、オフィス街、短期大学が位置する麦野地区にて調査を行った。この調査では、麦野地区の自営業者、町内会長、住民に話を聞くことができ、麦野地区でも天神地区と同様に、地域の連帯の希薄化が問題となっていた。その他、治安悪化、自転車の問題なども発生しており、地域の希薄化と「地域問題」解決のために旧住民間で連帯強化が生じていた。しかし、天神地区と麦野地区で決定的に異なったのが、連帯を強化している旧住民の新住民に対する姿勢であった。

第 6 章では、事前調査と本調査で分かったことを合わせて、第 4 章で立てた仮説の検証を行っている。本調査の分析は、相関図や様々な統計データにおいて同じような傾向を示す、中央区と博多区の共通点と相違点を比較検証することで行った。第 5 章で発見した天神地区と麦野地区の新住民に対する姿勢の違いは「地域問題」の有無や程度、住民の認識に関係していると予想し、実際に麦野地区で「地域問題」は起こっているのかや麦野地区の「地域問題」の程度に着目した。ここで、両区共通の「地域問題」である駐輪問題に焦点をしぼり、実際の「地域問題」の程度を比較するために、駐輪問題の程度を決定する要因を 4 つ挙げ、客観的に比較した。その中で、麦野地区近隣の南本町商店街での調査も参考として掲載し、その結果も合わせて、「地域流動性」と反作用的旧住民間の連帯性強化の関係をまとめている。

第 7 章では、本論文全体のまとめと今後の調査の課題を掲載している。

目次

はじめに・・1

第１章　問題設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
第２章　「地域流動性」と「地域問題」の関係 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
　第１節　「地域流動性」と「地域問題」を表す指標 ・・・・・・・・・・・・・・・・5
　第２節　相関図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
　第３節　小括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
第３章　事前調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
　第１節　福岡市・中央区概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
　第２節　事前調査対象者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
　第３節　調査の概要・結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
　第４節　小括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
第４章　仮説の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
　第１節　先行研究と作業仮説・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
　第２節　「地域住民」の定義・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44
　第３節　仮説の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46
第５章　本調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・47
　第１節　博多区概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・47
　第２節　調査の概要・結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・51
　第３節　天神地区と麦野地区の共通点・相違点・・・・・・・・・・・・・・・・・・58
第６章　仮説の検証と分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・61
　第１節　仮説の検証・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・61
　第２節　旧住民の新住民に対する姿勢と「地域問題」有無・・・・・・・・・62
　第３節　その他の仮説について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・70
　第４節　考察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・71
第７章　まとめと今後の展望・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・72

おわりに・・・74
参考文献・・・76

付録